

京都式えらべるデイサービス取組発表会アンケート結果から

本発表会に出席して、役に立ったこと、活かしたいと思ったことは何ですか。

回答合計	複数に分類した回答あり	116
「参考になった点がある。」		44
導入、準備の方法が参考になった。		(8)
<ul style="list-style-type: none"> ・「実施の問題点、準備期間など具体的に分かった。」 ・「記録、職員数確保は問題だが、大変だで終わらせず、業務の見直しにもっていくところがすごい。」 		
記録が参考になった。		(16)
<ul style="list-style-type: none"> ・「評価・記録の大切さ」 ・「残業を減らすために時間内に記録、準備をすること。」 		
プログラム内容が参考になった。		(4)
<ul style="list-style-type: none"> ・「取り入れたいプログラム内容があった。」 		
グループの分け方が参考になった。		(5)
ボランティアが参考になった。		(2)
職員の心構え、職員にも効果があることが分かった。		(6)
<ul style="list-style-type: none"> ・「利用者だけでなく、職員にも良い結果が出ることに気づいた。」 ・「えらべるデイで、利用者の意欲面や運動機能向上の効果に効果があるだけでなく、職員の意識改革につながっていることが分かった。」 		
その他		(3)
「個別ケア、利用者本位が重要だと分かった。」		12
<ul style="list-style-type: none"> ・「個別性を活かす、個別ケアを取り入れることで、利用者の楽しみや生きがいに、職員の仕事のやりがいにつながる事が分かった。」 ・「個別ケアで利用者の笑顔、積極性を引き出し、一人ひとりの人生を看取る責任を職員が自覚できるまで成長したい。」 		

<p>「当事業所流のえらべるデイを作りたい。」</p>	1 1
<p>・「発表施設は、利用者本位を大切に利用者に合わせた活動にしているのが素晴らしい。私達も私達のえらべるデイを作っていけたらいいと思った。」</p>	
<p>「できることからとりあえず始めたい。」</p>	1 2
<p>・「新しい取組を行うときに生じる様々な課題や不足なども、『これがあるからできない』ではなく『だったらこうしよう』とまずは挑戦して、取組ながら改善していくことで解決していけるのだと感じた。」</p> <p>・「できるところから行っていけばいいのが分かった。」</p>	
<p>「当事業所にも取り入れたい。」</p>	2 9
<p>当事業所にも取り入れたい。</p> <p>・「発表を参考にして、20年度中にはえらべるデイに近いものを取り込みたい。」</p> <p>・「通所リハでも取り入れていきたい。」</p>	(12)
<p>ますます発展させたい。</p> <p>・「現状に満足せずよりよいものを実施していきたい。」</p>	(5)
<p>やり方を改善したい。</p> <p>・「今のところ毎回どの小グループにするかを選択してもらう形だが、今後は利用者も職員も小グループを固定していきたい。」</p> <p>・「現状はやりっ放し状態。評価、記録＝たいへんという思いでしたが、利用者を見る職員の目が変わることが分かり、挑戦したい。」</p> <p>・「その日その日の行き当たりばったりなので、20年度から、年間、3ヶ月などの計画を立てていきたい。」</p> <p>・「現在週1回の実施だが、増やしていきたい。」</p> <p>・「職員の人数等に問題があり、話し合ってみたい。」</p>	(12)
<p>● 「デイ全体を見直したい。」</p>	6
<p>・「えらべるデイで、利用者に満足してもらえるデイ全体のケアを見直していけると思うので頑張りたい。」</p>	
<p>● 「利用者がまた来たいと思えるデイにしたい。」</p>	2